

July 14, 2016

「ネパールの医師になりたい少女を支援する会」の皆様へ

NGO PIN NEPAL のアナタです。

皆様のご協力を得て、ネパールの医師になりたい一人の学生の夢は去年 11 月に叶いました。私は、そのことは言葉で自分の心からの感謝の気持ちを伝えることが大変難しいと思います。本当にありがとうございました。

このメーガさんのプロジェクトが始まってから、ネパールの医学を勉強したいと思う子供達のこともし分かるようになって来ました。政治家、金持ち以外の子供達は医者になりたいとの気持ちがあっても、数年の間、休学あるいは入学試験を受かるために待つ必要があるのです。待てない人達は医師になることをあきらめ、別の分野の勉強をすることを余儀なくされる場合が多いのです。このことでメーガさんは 本当に運が良かったです。皆様のおかげで休学なしで医科大学へ入学出来ました。数年後に、彼女が医師の資格を得たあかつきには、NGO PIN NEPAL が行っている無医村でのクリニックで手伝ってくれることを期待しています。

「ネパールの医師になりたい少女を支援する会」のプロジェクトのお蔭でメーガさんは入学することができました。1 年もなっていない今、100 万ルピー

(100 万円) もの支払いを求められました。私たちにとって、これはすごく大変なことと思います。これまで、色々な人に声かけ、40 万円を集めることが出来ました。あと 60 万円が必要です。そこで、日本の皆様へもう一度支援をいただきたいと思いこの手紙を送っています。

メーガさんは勉強ができてトップから 5 人以内に入っていますが、支払いのことを心配しています。彼女が勉強に集中できますよう皆様のご支援をお願いする次第です。

最初のお願いから一年もたっていないのに、再度の支援をお願いすることは大変心苦しいのですが、皆さまのご協力があれば、少し支払期限が遅れてもうまくと思いますので、よろしく願いします。

私はこれからもメーガさんについて色々報告させていただくつもりです。また、折に触れ彼女からのメッセージも送らせていただきますのでよろしくお願いを申し上げます。 Anita Manandhar (原文のまま掲載)